学校番号	３１５

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年生
使用教科書	東京書籍「書道Ⅰ」（書Ⅰ　３０５）						
副教材等	なし						

１．担当者からのメッセージ（学習方法等）

毛筆の基本的な特性、技法を理解し、筆・墨・紙の知識と関係を認識する。
優れた古典の臨書、鑑賞を通じて、書への関心を高めるとともに書表現能力を身につける。
感性を豊かにし、書美の魅力を感じ取り、自己表現力を養う。

２．学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

３．学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身につけ表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
4	書写と書道(書体の変遷)	・国語科書写と芸術科書道 ・文字の歴史について学習する	○	○	○	○	a:小・中学校の書写の学習を確認した上で、高等学校の芸術としての書道に関する用具・用材に関する知識を理解し、古典の臨書・鑑賞を通じて美と技法に時代を超えた普遍性	観察 提出作品 ワークシート レポート 自己評価票

		・用具・用材の扱い方、姿勢・執筆法を学ぶ。	○			○	を体感し関心を持って取り組んでいる。 b:国語科書写での基礎・基本を踏まえ表現を工夫している c:書く時の姿勢・用具用材を適切に扱い技能を高める努力をしている。 d:書道と書写の類似点・相違点について理解しさまざまな書のよさを味わっている。	
5 6	楷書の学習	楷書 ・九成宮醴泉名 ・孔子廟堂碑 ・雁塔聖教序 ・自書告身 ・牛厥造像記 ・鄭文公下碑	○	○	○	○	a:墨色について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。古典の観察をきちんと行っている。 b:古典の持つ 伝統的な美を感受し、臨書の意味や表現方法を理解し、表現を構想し工夫している。 c:各古典の特徴を捉え用筆法・リズム・紙面構成等ポイントを押さえて作品制作している。 d:鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、楷書の良さや美しさを感じ取っている	観察 提出作品 ワークシート レポート 自己評価票
7 8 9	行書の学習	行書 ・蘭亭序 ・風信帖 ・争座位文稿 臨書作品の制作	○	○	○	○	a:古典の観察をきちんと行っている。墨色の発揮する力を理解し表現できている。 b:行書の持つ伝統的な美を感受し、表現方法を理解し、表現を構想し工夫している。 c:行書の各古典の特徴を捉えて用筆法・リズム・紙面構成等ポイントを押さえて作品制作している。 d:鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、行書の良さや美しさを感じ取っている	観察 提出作品 ワークシート レポート 自己評価票

10	草書の学習	草書 ・真草千字文	○	○	○	○	a:草書が持つ流麗な美について喜びを以て味わい主体的に創造的活動に取り組もうとする。 b:草書の諸要素を感受し、感性を働かせた上で自己の意図に基づいて表現を工夫している。 c:草書のリズムを捉えてリズミカルに表現している。 d:草書の成り立ちを学習し基本的な点画の在り方を踏まえて正しく書いている。	観察 提出作品 ワークシート レポート 自己評価票
10	隷書の学習	・曹全碑	○	○	○	○	a:隷書の学習として曹全碑の美しさを理解し鑑賞を通じて技法に関心をもち表現技法を高めようとしている。 b:隷書のもつ伝統的な美を感受し表現を工夫している。 c:おそらく初めて接する隷書を書くという行為に積極的に用筆法や姿勢などを理解して取り組んでいる d:鑑賞と表現の相互関連を理解し、隷書のよさや美しさを感じ取っている。	観察 提出作品 ワークシート レポート 自己評価票
10	篆書の学習	・泰山刻石	○	○	○	○	a:篆書の学習として泰山刻石の美しさを理解し技法に関心をもち表現技法を高めようとしている。 b: 篆書のもつ伝統的な美を感受し表現を工夫している。 c:篆書を書くという行為に積極的に用筆法や姿勢などを理解して取り組んでいる。 d:鑑賞と表現の相互関連を理解し、篆書のよさや美しさを感じ取っている。	観察 提出作品 ワークシート レポート 自己評価票

11 12	篆刻による名前印制作	篆刻 ・自分の名前を調べる(篆書体) ・名前印の制作	○		○	○	a:名前の篆書体を調べることを通じて篆書に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 c:印稿づくりに於いて小筆の弾力を活かし、硬筆等にも応用できる技法を身に付け表現している。 d:様々な石や銅の印影を鑑賞し、その良さ、美しさを味わっている。	観察 提出作品 ワークシート レポート 自己評価票
1 2 3	仮名の学習から漢字かな交じりの書へ	いろは歌 ・かな小筆の表現を学ぶ 文章を書く ・ひらがなと漢字による表現を学び創作する	○	○	○	○	a:仮名の墨色について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b:一番省略された用筆法や単純化されたひらがなの筆使いについて理解し、表現を工夫している。 c:ひらがなの単純化された筆使いを身に付け表現している。 d:墨色は黒一色ではなく五彩を表すということを理解し、その良さを味わっている。	観察 提出作品 ワークシート レポート 自己評価票

※ 表中の観点について

a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫　　c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。